

普及活動情勢報告（令和6年2月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

特産品の「ポンカン」をPR ～東洋町ポンカン振興対策協議会の販売促進活動～



「とさのさと」での販促

1月28日、「とさのさと」で生産者・JAなどの関係機関で構成する東洋町ポンカン振興対策協議会が、発足して初めて県内で販売促進活動を行いました。

農業改良普及課室戸支所は、企画や運営に携わり、当日は他のメンバーとともに、店舗入り口で消費者に声かけし、試食や袋詰め等の販売活動を支援しました。

試食した人からは、「甘い」、「味が濃くておいしい」との声をいただくなど、町のポンカンの良さがPRされました。また、参加した生産者からは「売り上げもよく、お客さんの反応が知れて良かった」と話していました。

室戸支所では、来年以降もこの取り組みが定着するよう支援します。

～第15回安芸・室戸地区農村女性リーダーつどいの開催～



家族経営協定について
説明する普及課職員

1月29日、芸西村村民会館で女性リーダーや関係機関など約80名が参加し、第15回安芸・室戸地区農村女性リーダーつどいが開催されました。

女性リーダーが企画・進行し、元JA馬路村組合長の東谷氏の講演やリーダーの活動報告、地域農産物を使った料理の試食会等が行われました。普及課は事務局として企画から当日の運営補助、また、家族経営協定についてのミニ講演を担当しました。

企画したリーダーからは、「家族経営協定については、今後もリーダーが集まる機会に継続して勉強し取り組みたい」といった意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も女性農業者の確保やさらなる活躍に向けた支援を行っていきます。

今年の栽培に向けて ～中芸集出荷場オクラ部会準備会～



説明を聞く生産者

1月31日、2月2日、中芸集出荷場オクラ部会が、安田町、北川村、奈半利町で講習会を開催し、生産者33名が参加しました。農業改良普及課は、課題となっている病虫害の発生条件等や防除対策の説明とIOPクラウド「SAWACHI」の推進を行い、JAは栽培管理や初期の利用薬剤について説明を行いました。

生産者は、基本的な栽培管理や病虫害対策について理解を深めるとともに、「SAWACHI」に関心を持った生産者から利用申込みがありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、部会活動への支援と露地品目でのIOPクラウド「SAWACHI」利用を推進します。

なはりの郷の研修体制の見直しに向けて ～黒潮町農業公社視察～



農業公社から説明を受ける参加者

2月1日、なはりの郷の研修事業（ナス）の指導体制の見直しを目的に黒潮町農業公社への視察を企画し、関係機関を含め6名が参加しました。

公社の概要や研修事業及び支援体制等について説明いただき、参加者からは「研修指導者の重要性、理想像を学ぶことができた」、「環境制御装置など施設の設備投資も行いたい」、「実際に見に行き、話を聞くとわかりやすい具体的なイメージが描ける」など、今後の取り組みについて前向きな意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協議を進めながら、研修体制の見直しに向けた支援を行っていきます。

芸西支部園芸部「販売会議」 ～優位販売に向けた課題を共有！～



「販売会議」の様子

2月8日、芸西支部で東京、京都、仙台から市場の販売担当者を招いて販売会議が開催され、生産者約21人が参加しました。

市場担当者からは、消費地情勢の報告と併せて、ナス、ピーマンの更なる品質向上と安定生産に対する期待が示されました。

参加者からは、「ナス規格の大型化」、「バイヤーと産地のマッチング」、「ピーマン小袋輸出」等の取り組みについて、市場担当者に意見を求めるなど、活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携し、高品質・安定生産に取り組むとともに、優位販売に向けた生産者の活動を支援します。

中芸地区ピーマン・カラーピーマン部会現地検討会
～「SAWACHI」の気象情報が便利～



生育状況を確認する農家

2月14日に中芸ピーマン・カラーピーマン現地検討会が開催され、農家2名が参加しました。

現地ほ場ではピーマンの生育状況やハウス内環境の制御について情報交換しました。農業改良普及課からは、「SAWACHI」で見られる気象情報や、環境データを活用した栽培管理について説明しました。参加者からは「気象の中期情報は先のピーマンの様子が予測できて便利」、「スマートフォンで確認できると温度管理がしやすい」、「詳細ボタンの先に情報がたくさんある」と、「SAWACHI」の活用に興味を示していました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携してデータを活用した栽培管理技術を紹介し、収量・品質の向上を支援します。

新たな担い手の確保・育成に向けて ～安芸市就農サポートチーム大阪視察～



研修ほ場で意見交換する
サポートチーム員

2月15日、16日の2日間、研修開始前の農業体験や兼業希望者への研修など支援の仕組みを学ぶことを目的に、安芸市就農サポートチーム員であるＪＡ、安芸市とともに大阪府にて先進事例の情報収集や意見交換を行いました。

サポートチーム員からは、「安芸地区版の仕組みを考えたい」、「今後を見据えて早め早めに手を打ちたい」といった前向きな意見が挙がりました。

農業普及課では、就農支援体制の強化に向け、引き続き関係機関と連携して兼業農家も含めた担い手の確保・育成の取り組みを進めていきます。